

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030010

政策目標	1 躍動感あふれる産業の町・雄武～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5 観光の振興	事業優先度	B	
単位施策	1 雄武観光の売り込み	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	ホテル日の出岬施設整備事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	施設の適切な維持管理		#N/A	
事業目標	維持等工事36件	ハード／ソフト事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無	
町民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画		平 成 30 年 度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	温泉ポンプ(No.1)更新工事 館内無線LAN設備改修工事 循環ポンプ等更新工事 浴室空調機モーター更新等工事 源泉配管内部確認及び高圧 洗浄業務 中央監視システム無停電電源 装置更新 太陽光施設整備工事 厨房空調更新工事 客室ベッド更新 外3件	男子露天風呂改修 外11件 外壁タイル調査(全面) 外7件 客室内リニューアル(4階) 外3件	【委託】 温泉ポンプ(No.1)更新工事 館内無線LAN設備改修工事 循環ポンプ等更新工事 浴室空調機モーター更新工事 源泉配管内部確認及び高圧洗 浄業務 中央監視システム無停電電源 装置更新 【町】 太陽光施設整備工事 厨房空調更新工事	客室ベッド更新(34台) 厨房等改修工事 事務室外空調新設工事 厨房等機器更新	男子露天風呂改修 大広間照明改修 給水加圧ポンプ取替 排水ポンプ更新 濾過温泉水ポンプ分解整備 客室廊下系統暖房外調機取替 熱源水ポンプ外更新 暖房用外調機自動制御更新 換気用外調機制御機器取替 便器取替 掃除用流し外設置 トイレ内手洗器水栓電磁弁取替	外壁タイル調査(全面) 客室内リニューアル(3階) 客室等室内機・室外機更新(3階) 客室廊下エアコン設置(3階) 6階展望室の客室化 ラウンジバーテーション設置 ロールカーテン取替 特殊浴場内改修	客室内リニューアル(4階) 客室等室内機・室外機の更新(4階) 客室廊下エアコン設置(4階) 2階小広間の客室化
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	270,520	42,828	45,497	76,723	57,149
実 績 事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0					
	地方債	18,700	12,000	6,700			
	その他	102,600	26,600		76,000		
	一般財源	149,220	4,228	38,797	723	57,149	48,323
事 業 費	事業費(千円)	94,644	46,984	47,660	0	0	0
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	過疎債(ソフト) 財政調整基金繰入金 ホテル日の出岬施設整備基金繰入金	【評価・実績】	温泉ポンプ(No.1)更新工事他7業務(委託) 12,321千円 厨房機器購入 5,179千円 太陽光施設整備工事 25,596千円 厨房空調更新工事 3,888千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	客室ベッド更新6,700千円 厨房等改修工事27,665千円 厨房等改修工事(その2)847千円 事務室外空調新設工事4,374千円 喫煙室改修工事1,837千円 厨房等機器更新6,237千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
第5期計画からの継続 (継続有り) 後期計画への継続 (継続有り)	年度目標値		維持等工事 8件	維持等工事 4件	維持等工事 12件	維持等工事 8件	維持等工事 4件
	年度達成率		110%	105%	0%	0%	0%
	全体達成率		17%	35%	35%	35%	35%
	備考欄						

事業名	ホテル日の出岬施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	ホテル日の出岬利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設の適切な維持管理	
抱える課題やニーズ	塩害及び経年劣化による施設の破損等に対する施設整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	温泉施設としての適正な維持管理	① 設備改修、備品購入件数	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	利用者の充実した利用環境の確保		目標値	4件
			実績値	6件
			達成度	150.0%
		②	目標年度	令和元年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	
内容(どのような手段で何を行ったか)	改修工事	維持管理に必要な施設の改修工事を実施した。		
	備品購入	利用者のニーズに対応するため、必要な客室ベッド等を更新した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	運営・サービスの低下による利用者離れの予防と温泉施設としての適正な維持管理を図るためにも、施設整備・備品更新等は必要である。
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		適正な温泉施設として維持するため、計画的に施設整備を進めており、有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		計画的な整備により修繕費及び維持費が抑制されており、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		全ての方が利用対象である施設の整備であり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に施設整備等を進めることにより、温泉施設としての適正な維持管理がなされた。		



継続/現状維持		
多様化するニーズに対応する施設を運営するには、計画的な施設整備による維持管理が必要であり、また、滞在型観光施設としての役割も担うため、今後も効果的かつ効率的に事業を推進する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030020

政策目標	1	躍動感あふれる産業の町・雄武～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		B	
単位施策	1	雄武観光の売り込み	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	ホテル日の出岬運営支援事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	指定管理施設の安定運営				#N/A	
事業目標	指定管理施設の維持管理		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	ホテル日の出岬運営支援補助金	ホテル日の出岬運営支援補助金	ホテル日の出岬運営支援補助金	ホテル日の出岬運営支援補助金	ホテル日の出岬運営支援補助金	ホテル日の出岬運営支援補助金
	事業費(千円)	73,500	14,700	14,700	14,700	14,700
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	73,500	14,700	14,700	14,700	14,700	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	35,758	14,700	21,058	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	35,758	14,700	21,058			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ホテル日の出岬運営支援事業補助金 14,700千円	(実施内容等) ホテル日の出岬運営支援事業補助金 14,700千円 ホテル日の出岬運営支援事業補助金(厨房等改修工事に伴う減収に対する補助金)6,358千円	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	指定管理施設の維持管理	指定管理施設の維持管理	指定管理施設の維持管理	指定管理施設の維持管理
		年度達成率	100%	143%	0%	0%
	後期計画への継続(継続有り)	全体達成率	20%	49%	49%	49%
		備考欄				

事業名	ホテル日の出岬運営支援事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	ホテル日の出岬	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	指定管理施設の安定運営								
抱える課題やニーズ	町民健康増進対策としての日帰り入浴料金の据置きに伴う運営の圧迫	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	入浴料金の据置き及びホテル日の出岬の安定運営	① 補助金支出額	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>14,700千円</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>21,058千円</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>143.3%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	14,700千円	実績値	21,058千円	達成度	143.3%
目標年度	令和元年度										
目標値	14,700千円										
実績値	21,058千円										
達成度	143.3%										
その結果、どのような成果を実現したか ※成果=目的	温泉資源の利用による町民福祉の向上	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何を行ったか)	運営支援補助金	日帰り入浴部門に対する安定運営対策として、運営支援補助金を支出した。									
	運営支援補助金	厨房等改修工事に伴う減収対策として、運営支援補助金を支出した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ホテル日の出岬の安定運営を図るためにも、補助金は必要である。
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	補助金の支出により、ホテル日の出岬の安定運営が図られており、有効である。
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		日帰り入浴部門に対する安定運営対策及び厨房等改修工事に伴う減収支援であり、効果的である。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
<input type="checkbox"/>	人員削減		
<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減		
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		全ての方が利用対象である施設の安定運営に寄与するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
<input type="checkbox"/>	受益者負担がない		
<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る		
公平/概ね公平 /公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
運営を圧迫していた日帰り入浴部門及び厨房等改修工事に伴う減収に対して補助金を支出することにより、施設の安定運営が図られた。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
町外者に対する入浴料金の値上げによる入浴部門の収入増加が見込まれているが、ホテル日の出岬の安定運営を継続するため、今後も計画的に事業を進める必要がある。	同左	

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030030

政策目標	5	連帯感を高める協働のまち・雄武～協働によるまちづくりの推進～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	効果的・効率的な行政経営	事 業 優 先 度		B	
単位施策	1	計画行政の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	職員住宅改修事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和3年度		担 当 年 課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	職員住宅の維持管理				#N/A	
事業目標	改修工事6件、火災警報器更新1件、建物取得1件		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	職員住宅改修工事 職員住宅等火災警報器更新 高校旧教員住宅取得(1棟2戸) 高校旧教員住宅改修工事	職員住宅改修工事 (1戸) 【旧林務署住宅43号】 煙突撤去、屋根改修、外壁改修 (繰越分) 高校旧教員住宅取得(1棟2戸) 高校旧教員住宅改修工事	職員住宅改修工事 (1棟2戸) 【旧林務署住宅159～160号】 屋根塗装、内部改修、電気設備 給排水衛生設備、水洗化 職員住宅等火災警報器更新 共済住宅 44個/16戸 職員住宅 67個/25戸 計111個	職員住宅改修工事 (1棟2戸) 【旧林務署住宅161～162号】 屋根改修、内装改修、電気設備 給排水衛生設備、水洗化	職員住宅改修工事 (2棟4戸) 【旧林務署住宅45～48号】 煙突撤去、屋根改修、外壁改修	職員住宅改修工事 (1棟2戸) 【旧林務署住宅49～50号】 煙突撤去、屋根改修、外壁改修	
	計 画 事 業 費	事業費(千円) 49,939	13,450	10,566	10,186	10,491	5,246
実 績 事 業 費	財源内訳	国庫支出金 0					
	道支出金 0						
	地方債 0						
	その他 25,700			10,100	10,400	5,200	
	一般財源 24,239	13,450	10,566	86	91	46	
事業費(千円) 23,225	12,949	10,276	0	0	0		
関 連 事 項	特定財源の名称 財政調整基金繰入金	(実施内容等) 職員住宅改修工事 (1戸) 2,020千円 高校旧教員住宅改修工事(1棟2戸) 10,174千円 高校旧教員住宅取得 755千円	(実施内容等) 職員住宅改修工事(1棟2戸)9,977千円 職員住宅等火災警報器更新299千円	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】						
	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持				
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 改修工事2件、建物取得1件	改修工事1件、火災警報器更新1件	改修工事1件	改修工事1件	改修工事1件	
	後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 96%	97%	0%	0%	0%	
	全体達成率 26%	47%	47%	47%	47%		
備考欄							

事業名	職員住宅改修事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	職員住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	職員住宅改修		
抱える課題やニーズ	職員住宅の老朽化		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	良好な住環境の整備		① 職員住宅改修工事等	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	適正な職員住宅の維持管理			目標値	2件
				実績値	2件
内容(どのような手段で何を行ったか)	改修工事	②	達成度	100.0 %	
	火災警報器更新		目標年度	令和元年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度		
	施設の維持管理に必要な改修工事(2戸)を実施した。				
	交換時期を迎えることになった住宅用火災警報器を更新した。				

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	職員住宅を整備することにより、職員住宅としての活用が推進されるとともに、本町における住宅難の解消にもつながることから、計画的に事業を進める必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	住宅改修により入居の促進が図られるため、有効である。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	入札等の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	職員住宅を整備して入居者を確保することにより、本町全体の住宅難の解消につながるため、概ね公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
改修工事により良好な住環境が整備され、入居者の確保が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
予定していた工事は適切に実施されたが、今後も本町の住宅難解消のため、老朽化した職員住宅を計画的に改修する必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030050

政策目標	5	連帯感を高める協働のまち・雄武～協働によるまちづくりの推進～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	効果的・効率的な行政経営	事 業 優 先 度		B	
単位施策	1	計画行政の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	役場庁舎備品更新事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和3年度		担 当 課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	備品更新数				#N/A	
事業目標	会議用テーブル等一式、執務用イス102個		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	町長室会議用テーブル等購入 執務用イス更新	町長室会議用テーブル等購入	執務用イス更新(一般職)	執務用イス更新(管理職) 72,100円×80%×14個×1.10 ≒889千円 ※ コクヨ レグノ2			
	事業費(千円)	3,389	1,100	1,400	889	0	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,389	1,100	1,400	889			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,515	1,117	1,398	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,515	1,117	1,398				
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) 会議用テーブル等 1,048千円 ひかり電話GW用UPS 69千円	(実施内容等) 執務用イス更新(一般職)	(実施内容等)	(実施内容等)	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
			A-終了	A-継続/現状維持			
	第5期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値	会議用テーブル等一式	執務用イス88個	執務用イス14個	
			年度達成率	102%	100%	0%	#DIV/0!
	後期計画への継続 (継続有り)		全体達成率	33%	74%	74%	74%
			備考欄				

事業名	役場庁舎備品更新事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	備品更新数		
抱える課題やニーズ	庁舎内備品の老朽化や機能低下による行政サービスの低下		① 更新件数	目標年度	令和元年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	使用に支障のある備品の更新			目標値	1件
				実績値	1件
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	事務効率の向上による行政サービスの向上			達成度	100.0%
		②	目標年度	令和元年度	
内容(どのような手段で何をを行ったか)	備品更新	執務用イスの更新を行った。	目標値		
			実績値		
			達成度		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	庁舎内備品の性能低下に伴う行政サービスの低下等を防ぐためにも、老朽化した備品の更新は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	備品の更新により、行政サービスの低下を防ぐことができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民に対する行政サービスを維持するために必要であり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事務手続きを計画的に進め、円滑に更新することができた。		

今後の展開方向 (Action) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div>		
継続/現状維持		
予定した備品の更新は適切に行われたが、行政サービスの低下を防ぐためにも、今後も老朽化した備品の更新を計画的に進める必要がある。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030060

政策目標	5 連帯感を高める協働のまち・雄武～協働によるまちづくりの推進～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	・事業期間 平成25年度～令和4年度 ・事業内容 街路灯LED化1灯用279本、2灯用6本 ・総事業費 72,979千円
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	街路灯LED化整備事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	街路灯のLED化		#N/A	
事業目標	85本	ハード／ソフト事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無	
町民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容
計 画 内 容	街路灯LED化整備工事(85本)	街路灯LED化整備工事 東浜町(1灯用18本)	街路灯LED化整備工事 北浜町(1灯用19本) ※H30繰越事業 6,080千円	街路灯LED化整備工事 港町(1灯用16本)	街路灯LED化整備工事 港町(1灯用6本) 末広町二区(1灯用10本)	街路灯LED化整備工事 末広町二区(1灯用11本) 魚田(1灯用5本)
	事業費(千円)	27,485	11,840	0	5,215	5,215
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	27,485	11,840	0	5,215	5,215	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	11,470	5,465	6,005	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	11,470	5,465	6,005			
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等)	街路灯LED化 東浜町18本 5,465千円	街路灯LED化 北浜町19本 6,005千円	(実施内容等)	(実施内容等)
		※事務事業評価結果	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	LED1灯用18本	LED1灯用19本	LED1灯用16本	LED1灯用16本
		年度達成率	46%	#DIV/0!	0%	0%
	後期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	20%	42%	42%	42%
		備考欄				

事業名	街路灯LED化整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	街路灯LED化整備本数								
抱える課題やニーズ	電気料金の高騰及び灯具の劣化による維持費の増	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	街路灯の更新による維持費等の抑制	①	LED化本数								
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	電気料金の節減と照明設備の長寿命化		<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>19本</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>19本</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	19本	実績値	19本	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	19本										
実績値	19本										
達成度	100.0%										
内容(どのような手段で何を行ったか)	街路灯LED化工事	街路灯のLED化工事を行い、照明設備の長寿命化を図った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	電気料金の高騰や既存設備の老朽化に対応するため、必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	事業の実施により、照明設備の長寿命化が期待される。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	全町民の安全に寄与するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業の執行により、維持費等の抑制につながり、将来を見据えた電気料金の節減が期待される。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
電気料金や設備維持費の節減及び各年度事業費の平準化を図るため、2年度以降も計画どおり事業を継続する必要がある。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030070

政策目標	5	連帯感を高める協働のまち・雄武～協働によるまちづくりの推進～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	効果的・効率的な行政経営	事業優先度		A	
単位施策	1	計画行政の推進	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	役場庁舎整備事業		見直し年度			
事業期間	平成30年度～令和3年度		担当課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関係課		#N/A	
事業指標	役場庁舎の維持管理				#N/A	
事業目標	改修工事5件		ハード／ソフト事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容
計 画 内 容	役場庁舎暖房設備改修工事 役場庁舎1階開口部断熱改修工事 役場庁舎サーバー室空調機取替工事 役場庁舎別館空調設備設置工事 役場庁舎受水槽配管改修工事	役場庁舎暖房設備改修工事 役場庁舎サーバー室空調機取替工事	役場庁舎受水槽配管改修工事		役場庁舎1階開口部断熱改修工事 役場庁舎別館空調設備設置工事	
	事業費(千円)	98,596	68,138	800	0	29,658
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	65,000	65,000			
一般財源	33,596	3,138	800		29,658	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	71,088	70,373	715	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	71,088	70,373	715			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	財政調整基金繰入金		役場庁舎暖房設備改修工事 役場庁舎サーバー室空調機取替工事	役場庁舎受水槽配管改修工事		
	【評価・実績】					
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	改修工事2件	改修工事1件	改修工事1件	改修工事1件
	後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	103%	89%	#DIV/0!	0%
		全体達成率	71%	72%	72%	72%
	備考欄					

事業名	役場庁舎整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	役場庁舎	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	役場庁舎維持管理								
抱える課題やニーズ	経年劣化による施設の損傷等に対する施設整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	役場庁舎としての適正な維持管理	① 工事件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	1件	実績値	1件	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	1件										
実績値	1件										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	来庁者の充実した利用環境の確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何をを行ったか)	改修工事	役場庁舎受水槽配管改修工事を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	行政サービス提供の拠点である役場庁舎としての適正な維持管理を図るためにも、施設整備は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	役場庁舎として適正に維持するため、計画的に施設整備を進めており、有効である。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	見積合せの執行により事業費が抑制されており、効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

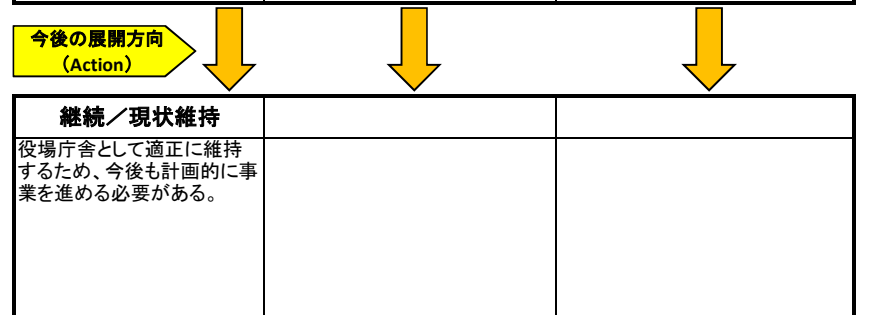
公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	雄武町全体の利益につながるものであり、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に施設整備等を進めることにより、役場庁舎としての適正な維持管理がなされた。		



- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030080

政策目標	5	連帯感を高める協働のまち・雄武～協働によるまちづくりの推進～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	効果的・効率的な行政経営	事 業 優 先 度		A	
単位施策	1	計画行政の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	車両運行業務民間委託事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	スクールバス等の管理運営業務				#N/A	
事業目標	委託車両8台の管理運行		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	スクールバス等8台の運行管理業務の民間委託	スクールバス等8台の運行管理業務の民間委託	スクールバス等8台の運行管理業務の民間委託	スクールバス等8台の運行管理業務の民間委託	スクールバス等8台の運行管理業務の民間委託	スクールバス等8台の運行管理業務の民間委託	
	事業費(千円)	169,762	33,780	33,080	34,803	34,406	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	169,762	33,780	33,080	34,803	34,406		
一般財源	33,780	33,780	33,080	34,803	34,406		
33,693	33,693	33,693	33,693	33,693	33,693		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	67,786	33,484	34,302	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	67,786	33,484	34,302	0	0		
一般財源	33,484	33,484	34,302	0	0		
0	0	0	0	0	0		
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託 委託料 32,562千円 車両整備 922千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車3台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託 委託料 32,926千円 車両整備 1,377千円	(実施内容等)	(実施内容等)	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
			A-継続/現状維持	A-継続/現状維持			
			委託車両8台の管理運行	委託車両8台の管理運行	委託車両8台の管理運行	委託車両8台の管理運行	
	第5期計画からの継続(継続有り)		年度目標値				
			年度達成率	99%	104%	0%	0%
	後期計画への継続(継続有り)		全体達成率	20%	40%	40%	40%
	備考欄						

事業名	車両運行業務民間委託事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町内児童、生徒、一般町民		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	業務車両委託台数		
抱える課題やニーズ	円滑な運行及び輸送業務の確保			①	目標年度	令和元年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行				目標値	8台
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行			実績値	8台	
内容(どのような手段で何を行ったか)	業務委託	スクールバス4台、給食配送車2台、福祉バス及び生涯学習バスの計8台の車両運行業務の一括民間委託		達成度	100.0%	
			②	目標年度	令和元年度	
			目標値			
			実績値			
			達成度			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	円滑な運行及び輸送業務を実施するため、民間委託により業務を行う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		民間委託を行うことにより、柔軟かつ円滑な運行業務等を行うことができた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		民間委託により人件費を抑制することができ、コストに見合った効果を得ることができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		雄武町民全般に寄与する業務であり、公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
業務の民間委託により、柔軟かつ円滑な運行と経費節減が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/内容の見直し・変更		
車両運行・輸送業務の円滑化と効果的な成果を得るためにも、今後も計画どおり事業を継続する必要がある。(R2年度より車両運行窓口である教育委員会、保健福祉課へ所管替)		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030081

政策目標	5	連帯感を高める協働のまち・雄武～協働によるまちづくりの推進～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	効果的・効率的な行政経営	事 業 優 先 度		B	
単位施策	1	計画行政の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	公用車更新事業		見 直 し 年 度			
事業期間	令和元年度		担 当 課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	共用車両更新				#N/A	
事業目標	車両1台		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	共用車両1台更新 (11号車プロボックス)		共用車両1台更新(11号車)				
	事業費(千円)	2,300	0	2,300	0	0	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,300		2,300			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,045	0	2,045	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,045		2,045			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
		【 評 価 ・ 実 績 】		共用車両1台更新			
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
				A-終了			
				車両1台			
	第5期計画からの継続 (継続無し)		年度目標値				
			年度達成率	#DIV/0!	89%	#DIV/0!	#DIV/0!
後期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	0%	89%	89%	89%		
	備考欄						

事業名	公用車更新事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	雄武町職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	共有公用車								
抱える課題やニーズ	共有公用車の老朽化による利用環境の低下	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	安全走行が可能な共有公用車の確保	① 更新台数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1台</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1台</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	1台	実績値	1台	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	1台										
実績値	1台										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したか ※成果=目的	職員が安心して公務を行うことができる利用環境の確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何を行ったか)	車両更新	共有公用車1台を更新した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	職員が安心して利用できる環境を確保するためにも、車両の更新は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	老朽化した車両を更新することにより、職員が安心して利用できる環境を確保することができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	全職員が利用対象である車両の更新であり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
事務手続きを計画的に進め、円滑に更新事務を行うことができた。	同左	

今後の展開方向(Action)	終了	終了
↓	↓	↓
終了	終了	
予定した車両の更新は適切に執行されたが、今後も職員が安心して公務を行う環境を確保するためにも、老朽化した車両の更新を計画的に進める必要がある。	同左	

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 03030090

政策目標	5	連帯感を高める協働のまち・雄武～協働によるまちづくりの推進～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	効果的・効率的な行政経営	事 業 優 先 度		B	
単位施策	3	地方分権型行政の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	町有施設整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和3年度		担 当 年 課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	町有施設の維持管理				#N/A	
事業目標	改修工事等10件		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年度 事 業 内 容	令和 2 年度 事 業 内 容	令和 3 年度 事 業 内 容	令和 4 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	潮見町有住宅内部改修工事 旧雄武林務署屋根等改修工事 町営住宅等火災警報器更新工事 旧雄武農業開発事業所事務所屋根等改修工事 栄丘町有住宅外壁改修工事 旧日産屋根防水工事 旧林務署屋根修復工事 沢木町有住宅浄化槽設置工事 旭日団地駐車場防護柵修繕工事	潮見町有住宅内部改修工事 (1棟2戸) 旧林務署屋根修復工事	町営住宅等火災報知器更新 工事 沢木、旭日、新日の出、宮下 末広一区、末広二区、新町 緑町、潮見、魚田、幌内 サンライズビレッジ、町有住宅 町有一般住宅 (331戸) 計541個 栄丘町有住宅外壁改修工事(1棟2戸) 旧日産屋根防水工事	旧雄武林務署屋根等改修工事 沢木町有住宅浄化槽設置工事 旭日団地駐車場防護柵修繕工事	旧雄武農業開発事業所事務所 屋根等改修工事 潮見町有住宅内部改修工事 (1棟2戸)	
	事業費(千円)	45,608	8,724	9,470	13,917	13,497
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	24,924	724	9,000	7,100	8,100
一般財源	20,684	8,000	470	6,817	5,397	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	18,764	9,515	9,249	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	18,764	9,515	9,249			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	財政調整基金繰入金		潮見町有住宅内部改修工事7,745千円	町営住宅等火災報知器更新工事4,389千円		
	公有物件建物災害共済金		林務署屋根修復工事724千円	栄丘町有住宅外壁改修工事2,214千円		
		【 評 価 ・ 実 績 】	旧日産雄武店暖房設備改修工事1,046千円	旧日産屋根防水工事2,646千円		
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
			A-継続/現状維持	A-継続/現状維持		
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	改修工事等2件	改修工事等3件	改修工事等3件	改修工事等2件
後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	109%	98%	0%	0%	
	全体達成率	21%	41%	41%	41%	
	備考欄				#DIV/0!	

事業名	町有施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	藤川 勝利
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	吉田 達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町有施設		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	町有施設の整備		
抱える課題やニーズ	町有施設の老朽化、不足			目標値及び実績値		
どのような状態になることを目指したのか(意図)	良好な町有施設の整備・確保			① 改修工事件数	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	町民が安心して生活できる住環境の整備・確保				目標値	3件
					実績値	3件
内容(どのような手段で何を行ったか)	町営住宅等火災警報器更新工事	交換時期が到来する火災警報器の更新を実施した。				
	栄丘町有住宅外壁改修工事	経年劣化により損傷した外壁の改修工事を実施した。				
	旧日産屋根防水工事	経年劣化により損傷した屋根の防水工事を実施した。				

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境の確保につながるものであり、必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境が確保されており、有効である。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		入札の執行により事業費が抑制され、効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境の確保につながるものであり、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に事業が進められ、町民が安心して生活できる住環境の確保がなされた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
予定していた事業は適切に実施されたが、今後も本町における住環境を整備・確保するため、計画的に事業を実施する必要がある。			

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止